

第2回 横浜市墓地等指定管理者選定評価委員会 議事録	
日 時	令和3年8月30日(月) 13時30分～18時00分
開催場所	横浜市役所18階 なみき16会議室
出席者	池邊委員、市川委員、岩下委員、小谷委員(委員長)、上菌委員、川端委員(委員長職務代理者)、吉川委員、三上委員
欠席者	0人
開催形態	非公開
議 題	<p>1 議事</p> <p>(1) 議事の公開について</p> <p>(2) 応募状況等について</p> <p>(3) 選定手順について</p> <p>(4) 面接審査等(3団体)</p> <p>(5) 指定候補者及び次点候補者の決定</p> <p>2 その他</p>
決定事項	<p>1 第2回委員会を非公開とします。</p> <p>2 団体B(清光社・横浜植木共同事業体)を指定候補者とし、団体A(横浜緑地株式会社)を次点候補者とします。</p>
議 事	<p>1 議事の公開について</p> <p>(1) 全委員8名中、8名の出席のため、「横浜市 墓地等指定管理者 選定評価委員会 運営要綱」第7条第3項の規定に基づき、本委員会は有効に成立。</p> <p>(2) 個別、具体的な審議となることから、会議を非公開とすることについて確認。</p> <p>2 応募状況等について</p> <p>ア 応募状況について 及び イ 欠格事項について (事務局)【資料1】に沿って説明。</p> <p>ウ 財務諸表等の確認結果について (上菌委員) 団体A、団体Bは、財務状況に問題はありません。 団体Cについては、構成企業(親会社)の2020年9月の決算が大幅にマイナスとなっていたため、おそらく新型コロナウイルスの影響を受けていると考えられます。そのため、構成企業の業績の影響を受ける可能性もありますが、構成企業は応募団体の中でも一番大きい会社規模であるため、団体Cにおいても、大きな問題はないと思います。</p> <p>3 選定手順について</p> <p>(事務局) 選定手順について【資料2～4】について説明。</p>

横浜市指定管理者のガイドラインでは、委員が6名以上の委員会の際には、最高点と最低点をつけた委員の点数をカットし、残りの委員の合計点の平均値を評価することになっており、それに準じて本委員会も進めていきたいと思えます。

(小谷委員長) 最高点と最低点に同点の委員が2人以上いた場合の取扱いについて決めておく必要がありますが、事務局から案はありますか。

(事務局) 最高点、最低点に同点の委員がいた場合、両委員の評価点を除いてしまうと、限られた委員数の中で、さらに少ない委員数での評価点の平均が委員会全体の評価点となってしまうことから、同点のどちらかの点数を除く形が良いのではないかと考えています。同点のうち、どちらかの委員の点数を除いたとしても、委員会全体の評価点には影響がないため、どちらかをくじ引き等で無作為に除く方法が事務局として良いのではないかと考えています。

(小谷委員長) 事務局案のとおりでよろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし

(委員) 評価表3の(2)～(4)は、元の点数(0～5点)を2倍にするため、奇数点(7点や9点等)にはならないという認識でよいでしょうか。

(事務局) その通りです。

4 面接審査等(3団体)

応募団体が提案内容について10分間のプレゼンテーションを行い、委員から質疑応答を行った。その後、委員間で意見交換の上、最終評価を行った。

【団体Aに対する主な質疑応答】

(委員) 8月のお盆が過ぎた時期にほとんど花が咲いていないという課題に対して、どのように取り組みますか。

(団体A) バラは開花時期が限られた植物であるため、宿根草や一年草などをバラの足元に植えることで、バラの魅力を高めていきたいと考えています。また、横浜イングリッシュガーデンのように、バラだけではなく草花の魅力を高めた提案などもしていきたいと考えています。さらに、墓地内のベンチや、俣野公園と協議をし、レストハウス前の広場に季節感を感じるような花などをプランター等で展開し、俣野公園とメモリアルグリーンとで一体的な花の演出をしていきたいと考えています。

7月、8月は、バックヤードでヒマワリ等、参拝者に喜んでもらえるような花をプランターで育て、お盆の時期など参拝者の多い時期に合わせてプランター装飾等を展開するとともに、宿根草など花だけではなく葉も楽しめるようなガーデンを考えています。

(委員) 市民協働の取り組みや自主事業の取り組みについて、詳細を教えてください。

(団体A) 自主事業については、下飯田駅とメモリアルグリーンの間をつなぐ送迎バスを考えています。また、参拝者が夏季に園内で休憩できるテントを設けることや墓所管理代行サービスとしてお参りや献花、清掃クリーニングなどの代行サービスを展開していきたいと考えています。

市民協働については、スマイリングプロジェクト(ボランティア活動)の中で植物の管理や、植物を勉強できる場所として地域の方々にご参加いただくことを考えています。

(委員) ボランティアを地域の人から募ってボランティアチームを作るということでしょうか。

(団体A) 現在メモリアルグリーンで行っているバラ管理のボランティアを継続しつつ、新たに募集することを考えています。

(委員) 事業計画書に「マイナスイメージの払拭」とありますが、メモリアルグリーンにおけるマイナスイメージの原因と改善策をどのようにお考えでしょうか。

(団体A) マイナスイメージとは、メモリアルグリーンに対してではなく、日本の一般的な墓地に対して、「暗い」や「怖い」というイメージを持っている方が多くいるということです。横浜市墓地問題研究会では、その墓地に対するマイナスイメージを変える目的で、メモリアルグリーンが取り上げられているため、バラに加えて他の花の魅力を高めていきたいと考えています。また、地域連携などを通して、さらに、墓地に対するマイナスイメージの払しょくにつながっていくと思っています。

(委員) ISOの品質管理基準はどのようなものを取得していますか。

(団体A) ISO 9001の品質と14001の環境について認証を取得しています。

(委員) 個人情報のデータは、クラウドやハードディスク等、どのように管理する予定ですか。

(団体A) システム上での管理と申請書での管理があるため、恐らく紙ベースとデータベースの2種類になると思います。また、データは、ハードディスクでの管理をしており、会社のシステム上2台のハードディスクを用意しているため、万が一1台が故障した場合でも、もう1台で運用出来るよう対策を取っています。

(委員) 事業計画書には、「横浜らしい墓地」というのがキーワードになっていると思います。管理実績のある他市町村の墓地と比較して、メモリアルグリーンの横浜らしい墓地としての特徴は、どのようなところが挙げられますか。

(団体A) 他の墓地では、荒れ墓所が大きな課題になっており、草が生い茂っていたり、木が繁茂してしまい、近くの墓石に影響を及ぼしてしまったりすることがあります。一方、メモリアルグリーンは、景観的にもかなり美しく、そもそも荒れ墓所が発生しづらい設計になっています。

メモリアルグリーンは、墓地問題研究会でも示されているように、「横浜らしい墓地」として、より地域の方が集って地域になじむような墓園にしていきたいと考えています。メモリアルグリーンに足を運んでいただくきっかけとして、花の魅力伝えるだけではなく、我々は防災・減災の取組として地域の方々と連携を取ってきた実績がありますので、地域連携についても、協議をしながら、貢献していきたいと考えています。地域の方々がこの墓園に足を運んで、活用していただくところが横浜らしさであり、ほかの霊園とは違う部分だと感じています。

(委員) 自主事業の一つの例として挙げられた、送迎バスは無料で行うのですか。

(団体A) その通りです。

(委員) 利益の上がるような自主事業はないでしょうか。もしあれば、送迎バスのほかに、その利益をどのように還元するのか、教えてください。

(団体A) 自主事業で一番収益が上がるものは、供花の販売と考えています。現指定管理者の販売状況と我々の過去の実績を踏まえて、横浜市内の花屋と連携しながら供花の販売を行っていきたいと思っています。また、供花販売等の収益を地域の方に還元する方法として、送迎バスの運用や休憩所の設置などを提案させていただきました。

(委員) 供花で利益を上げるための工夫は、どのようなものがありますか。

(団体A) まず1点目は、メモリアルグリーンという、横浜らしい墓地・美しい墓地の環境に合う花として、比較的洋風な花を用意することを考えています。2点目は、現指定管理者が行っている供花販売はプラスチックのコップを使用しているのですが、リサイクルできるようなものに変えて、環境にも優しいということをアピールしながら販売していこうと考えています。

(委員) 収支のコスト縮減策として、提案書に記載のもの他に具体的な提案があれば教えてください。

(団体A) 一番大きなポイントは、自動芝刈り機です。自動芝刈り機は、電気代はかかりますが、閉園後に機械を動かすことが可能になりますので、機械を5年間動かすと考えると、コストを大きく縮減できます。自動芝刈りは過去に実績もあるため、縮減できる可能性は十分あると考えています。

(委員) 縮減できるのは人件費でしょうか。

(団体A) その通りです。また、横浜市内の他の公園の指定管理をさせていただいていますので、指定管理施設を複数持つスケールメリットとして、植物等の物品の購入に関してもコスト削減が出来ると考えています。以上2点でコスト削減を進めていきたいと考えています。

(委員) 自動芝刈り機というのは、いわゆるロボット掃除機のようなものでしょうか。

(団体A) その通りです。携帯電話に登録をすると、現在の稼働状況等の情報が送られてきます。また、通常の芝刈り機がおよそ120デシベルあるのに対し、自動芝刈り機は60デシベルほどであり、人が話している程度の音のレベルであるため、夜間に運用しても問題ないと考えています。さらに、環境面についても、自動芝刈り機は電気で動くため、排気ガスの排出がゼロというところもメリットとして挙げられます。

自動芝刈り機は、人力での作業が必要ないため、暑い日の熱中症対策としても活躍できます。毎日のように稼働させることが出来るため、年間通して美しい芝の状態が管理できるということで、活用させていただきたいと考えています。

(委員) メモリアルグリーンは、芝と墓石の間に隙間がないのですが、自動芝刈り機はどのように動くのでしょうか。

(団体A) 自動芝刈り機は、樹木型納骨施設の部分で使用させていただければと思っています。墓石のある芝生型には使用しない予定です。

【団体Bに対する主な質疑応答】

(委員) 提案書に記載の「スカイライン」はなぜ取り入れようと考えているのか教えてください。

(団体B) 現在、C地区のケヤキのシンボルツリーの左側の樹木がうっそうとしており、かなり暗い雰囲気があります。

エリアごとに管理水準の差が出てはいけないということと、うっそうとした状態は樹木にとってもよくないため、少し枝抜きをし、適正に光が入ってくるような雰囲気づくりに努めて対応したいと考えています。

メモリアルグリーンの供用が始まってから約15年が経ち、(樹木が成長し) 全体的の見直しが必要な時期に来ていると感じ、優先順位を高めています。

(委員) 新しくユリの提案をしていますが、ノウハウがあるのでしょうか。

(団体B) ユリは、弊社の歴史と非常に深い関わりがあり、明治時代に創業してから海外にユリの球根を輸出するというのが、当時かなり力を入れていた主力事業ということもあり、ユリに対する思い入れが会社全体に強くあります。ノウハウに関しては、弊社が他に指定管理をさせていただいている公園等の実績がございます。ユリは墓園という雰囲気合い、例えばバラの一番花と二番花の間の時期にユリが咲くことで、常に花で満たされているような空間を皆様に提供したく、今回提案させていただいています。

(委員) 芝生の火災とは何のことでしょうか。

(団体B) メモリアルグリーンでは、原則、火気厳禁ですが、実際に我々が指定管理をさせていただいていた期間に数件火災がありました。火気厳禁と促していても使ってしまう方がいたため、そのような懸念も含めてしっかりと準備をしていくため、対策を提案させていただいています。

(委員) メモリアルグリーンは、お盆が過ぎた時期に全く花が咲いていませんでした。日野こもれび納骨堂は花ではなく、独特の植栽計画をしていると思いますが、メモリアルグリーンのような広大な墓園で、日野こもれび納骨堂のような植栽計画は可能なのでしょうか。

(団体B) 花以外での魅力という点では、シンボルツリーの存在感や、芝生の美しさというものが挙げられます。また、日野こもれび納骨堂は葉っぱの色彩に特徴のある宿根草などを使用しています。決して花だけにこだわらず、特徴のある葉のもの等も弊社はノウハウがありますので、新しい提案ということで市民の皆様にも新たな魅力を提供できると考えています。

(委員) 提案書に記載の、サービスや市民協働の取組、自主事業の中で、既に行っているものと第4期で新たに行うものがどれに当たるのか教えてください。

(団体B) 新しいサービスに関しては、デジタルサイネージや、外国人利用者対応のためのA5判のリーフレット、ガイドラインに則ったホームページの作成を考えています。また、無料Wi-Fiをレストハウスとその近辺のベンチまでは届くよう導入したいと思っています。フェイスブック等は現指定管理者が行っているものを引き継ぐ予定です。

市民協働の取組に関しては、この5年間で地域住民の方の年齢層やニーズが変わっている可能性もあるため、第4期目に入ると同時に関係をもう一度構築し、どのような要望が墓園ないし俣野公園にあるのかお聞きしてから取り組みたいと思っています。

自主事業に関しては、供花販売は継続して行います。また、我々はなるべく来園していただいて墓参してもらいたいという思いがあるため、コロナ禍という状況も含めて横浜市と協議して提案していきたいと思っています。現在の分かり得るニーズの中で提案している自主事業ですので、今後管理していく中で、指定管理経験を十分に活かして必要に応じて事業を修正してまいりたいと思っています。

(委員) 自主事業で得る利益をどのように還元しますか。

(団体B) 施設の利用者サービスにももちろん還元いたしますが、事業計画書には植栽管理に関して多くの提案をしておりますので、植栽管理などのサービスに還元できるように収支計画を立てています。

(委員) 植栽管理は、指定管理委託費の中から行うのが原則だと思います。利益を植栽管理に充ててより良くしようということだと思いますが、原則は維持管理費の中に入っていると思うので、例えばバスの送迎など本来だったら有料で行うものを無料で行うというのがあれば、教えていただけますでしょうか。

(団体B) 利益は、Wi-Fiサービスなどで還元していきたいと考えています。

(委員) 全て無料で行う必要はないですし、儲けていただいてもいいと思いますが、会社の儲けだけでなく、それをどこかに還元していただくようなことを考えていただければ、より良い事業になるのかなと思います。

(委員) 芝生型は、エッジカット（墓石周辺の芝生をなくし、土が露出している状態にする方法）にすると書いてありますが、提案書の写真は既に行われている別の霊園の写真でしょうか。

(団体B) 写真は、保土ヶ谷区にある英連邦戦死者墓地ですが、実際にエッジカットを用いた管理をされているため、このようなイメージで管理をしたいと考えています。

(委員) エッジカットをすることにより、どのようなメリットがあるのか、もう少し具体的に教えてください。

(団体B) メリットとしましては、管理にかかる労力が大幅に削減されることが挙げられます。メモリアルグリーン芝生型墓地は7,500基あり、現状は一つ一つ手刈りや機械で墓石の際を刈っているのですが、その労力を無くせるということは、それ以外の管理にかけられる労力が増えると考えています。

(委員) 初期投資としてエッジカットを行う費用がかかってしまうが、その後の

管理メンテナンスはこちらの方が効率的ということでしょうか。

(団体B) 今回は、芝生のエッジカットと、バラの植え替えを提案させていただいております。イニシャルコストはかかりますが、その後のランニングコストが5年間大幅に削減されるということを見込んで提案させていただいています。

(委員) 管理や経費削減には、エッジカットは効果的かと思いますが、見栄えの問題などもあるため、利用者の満足度や利用者がどう思うかなどが見えてからでないと、管理費が安くなった、それだけでは済まないと思います。

(委員) 現指定管理者に対して我々が評価している点は、丁寧な芝生の管理です。そこに新しくエッジカットを取り入れるのは、管理の質を下げることにはなりませんか。

(団体B) 今回エッジカットの提案をさせていただいた理由として、現指定管理者は、墓石の周りを機械で刈っており、エンジンの音もしますし、芝刈り作業を行っている間は、お墓参りに来られた方は少し遠慮されてしまうのではないかと感じ、そういった部分を極力なくしたいという思いもあり提案させていただきました。

(委員) 収支予算書について、総額ではバランスを取っているのですが、自主事業に関して収入より支出が多いのですが、なぜでしょうか。

(団体B) 令和4年度につきましては、部品等の設備に関する支出や修繕等が伴うものを自主事業費に入れさせていただいておりますので、支出が少し高くなっています。

令和5年度以降につきましては、自主事業担当として2名ずつの人件費を各年度の自主事業の経費に含めているため、支出が上回っています。

【団体Cに対する主な質疑応答】

(委員) シンボルツリーのヒメシャラは、枯れそうだった記憶がありますが、当時から回復しましたか。昨日現地を見学した際には、元気がないように見えました。

(団体C) 最近暑さの影響もあると思いますが、土壌改良をし、継続的に記録写真も撮っておりますが、当時から大きく回復してきていると認識しています。

(委員) 新しく別のヒメシャラを植えた方がよかったのではないのでしょうか。

(団体C) ヒメシャラはシンボルツリーであり、下に多くの方が眠られているので、植え替えることは難しいと考えました。

(委員) 昨日、現地見学に行きましたが、メモリアルグリーン全体的に、花もなく色味がないように感じたが、芝生だけは立派に管理をされていました。

(委員) 俣野公園のプレイパーク事業にはどのような協力をしているのですか。イベントだけではなく、通常のプレイパークの活動にも協力しているのですか。

(団体C) 隔月で定期的に木工教室を開催させていただいています。また、毎月のミーティングにも参加させていただいています。

(委員) 今回の提案の中では、あまり現状への理解や反省など、課題どのように改善するかという話がなかったのですが、基本的には指定管理料を市の指定上限額から8.1%削減するというので今回は勝負しようということなのでしょう。

市が、指定管理を取り入れているのは、今までの行政による公共墓園の管理を超えた、民間ならではの工夫というものを求めているからであり、私たちは、行政以上のふれあいやコミュニケーションなどを提案していただきたいと考えています。

メモリアルグリーンは、ある意味、お墓参りの文化という古い体質ではなく、みんなが、花がきれいだからと遊びに来られる、墓参りでなくてもより多くの方に来ていただくというのが趣旨だと思います。今回の提案の中にはあまり新しい魅力が感じられませんでした。

(団体C) 大きく何か目玉で、第4期は何かを行うというよりは、今まで積み上げてきたものを提案書でさらに表明させていただいて、その中で幾つか新しいことや細かい取組について挙げています。例えば、お墓参りカードの導入など、細かい提案はさせていただいているのですが、確かに今回、新規で大きな提案はありません。今回は新しい期の取組というよりは、これまで積み重ねてきたことを、更に強化して力を入れていきたいという趣旨で提案書は記載させていただきました。

我々は、花と緑のプロとして地域住民に愛される施設づくりという意識も持って、公共施設の指定管理者をさせていただいていますが、バラの花に力を入れて取り組んでおり、バラの配置図など、墓参者の方だけでなく地域の皆様にも来ていただけるような取組を、これまで同様、継続してゆく所存です。

今は端境期のため花が寂しいですが、俣野公園全体としてみると植栽の管理水準は、メモリアルグリーンの方が高く、たくさんの方が散策されて公園の一部としても愛されてきているのではないかと認識しています。

(委員) 第3期指定管理者として管理をしてきた中で、課題や問題点はございますか。

(団体C) 継続してご使用者様からのご相談として多いのは、やはり承継問題で

す。ご使用者様はメモリアルグリーンが好きなので、施設内に合祀室等をつくって無縁化しないよう、返還の際に合祀墓にお納めすることはできないかというような提案は、以前から横浜市にさせていただいています。

(委員) 個人情報の保護は、保険に入っているから大丈夫というものではないと思いますがどのように考えていますか。

(団体C) グループ会社で専門に情報を扱っている会社があり、そちらで全て情報管理を行っています。また、個人情報を扱うメールのやり取りは暗号化をするなどは日々の業務の中で行っています。

(委員) 第3期指定管理者として管理を行い、自主事業や、地域との協働などで改善した方がいい点や新しい取組として行った方がいい点など、この提案書に追加で記載することは、基本にはないということでしょうか。

(団体C) 利用者の行動を観察しながら、花壇造成や納骨施設のドアのデザインを少し変えられないかという提案をさせていただいています。

自主事業として、我々は大船フラワーセンターの指定管理もさせていただいており、現在、メモリアルグリーン施設内にはないような品種のバラを大船フラワーセンターから持ってきて、それを実際に園内に植えて品種を増やしていくという活動に取り組んでいます。

【委員の意見交換】

(委員) 今回、団体Bが第1期、第2期の指定管理者、団体Cが第3期の現指定管理者だと思うのですが、第3期の選定で指定管理者が変わった理由を教えてください。

(委員) 私は第3期の選定委員の一人でしたが、ヒメシャラがプロの手で生き返るかもしれないということと、自主事業が魅力的だったことがポイントだったと記憶しています。

(委員) 私は毎日園内を散歩したり中を通ったりしているのですが、この暑さで少し木がまいつているのかなという感じはありますが、春先にはきれいな花も咲いています。事務室の周りを歩いたときも、事務員さんの対応が丁寧です。団体Cはそういう教育をされているのかなと思います。利用者だけでなく、来園者には挨拶をしたり、作業している人も、挨拶はされませんが来園者の邪魔にならないように作業をしたり、そういう心遣いはされています。

(委員) 団体Cの提案は、コスト削減し行政の代行者として管理するというスタンスのように見えますが、メモリアルグリーンは墓地というよりは公園であ

り、何だかきれいだなと思ったら、ここ、墓地だったの？というのが理想だと思うのです。後からここは墓地だったんだ、と言ってもらえることが褒め言葉であり、日本にもこんな素敵なメモリアルパークがあるんだ、ということを世界に発信するくらいを求めています。が、団体Cからは、公共施設にはないような提案があまりなかったことが残念に感じます。

5 指定候補者及び次点候補者の決定

(事務局) 【資料4】集計表について説明。

(小谷委員長) 点数の高い順に、指定候補者は団体B清光社・横浜植木共同事業体、次点候補者は団体A横浜緑地株式会社ということになりますが、よろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし

(小谷委員長) 横浜市墓地等指定管理者選定評価委員会運営要綱に基づく市長への報告書については、事務局で案をまとめて、最終的な文言については委員長に一任させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし

(小谷委員長) それでは、審査結果の報告書に記載する指定候補者の講評、優れていた点や指定候補者に対する意見・要望・期待することなどについて、意見ををお願いします。

(委員) 団体Bは第1期、第2期の指定管理をしていたということで、第3期に別の団体が開与することにより、今まで自分たちでは気がつかなかったことなどが取り入れられるようになり、第1期、第2期とは違う取組になるのではないかと期待したいと思います。

(委員) 団体Bのインスタ映えスポットの鉢植えなどは、新たな取り組みとして評価できる点だと思います。また、掲示物のデザインの統一なども墓地において大事な取り組みですので、美しいデザインを取り入れていただければと思います。

(委員) 住民の方たちと交流しようという姿勢が一番団体Bには見えたと思います。団体Cの方が、接遇が良かったという意見もありましたが、団体Bも提案書には、接遇研修について書いてあるので、期待したいと思います。

(委員) 団体Bの、オリジナル供花と母の日参りという新しい提案は、あまり日本にはない取り組みのため、新しい発想で良いと思います。

	<p>(委員) 定期的に選定の機会を設けることで、メモリアルグリーンに対する管理の質が上がっていくと思います。団体Bのように、第1期、第2期の指定管理をしていたから今までと同じ管理で良い、ではなく、もう少しランクを上げた管理をしようという気持ちになってもらえることが、利用者にとって一番良いことだと思います。</p> <p>(委員) 1団体だけがずっと管理を続けていくと惰性になってしまいますが、第1期、第2期の指定管理者である団体Bにとって、第3期で別の団体が指定管理に入ったことで、思い残したことなども改められるのではないかと思います。</p> <p>(委員) 第3期で管理運営について変えた点もあると思うので、引継ぎが上手くいくか不安があります。</p> <p>(委員) 団体Bは、提案の中にあつた緑の景観に対する思い入れが非常に強いので、費用のかかることですが横浜市と協議しながら確実に取り組んでほしいと思います。ほかの団体に比べて、団体Bだけが景観に関して提案してきたので期待しています。ただ、エッジカットだけは慎重に検討してほしいと思います。</p> <p>(委員) エッジカットは反対意見が多かった、ということは事務局から伝えていただきたいと思います。</p> <p>(委員) 木が大きく繁茂しているところは、ものによっては伐採や更新も必要だと思うので、その点については、これから20年先を見た樹木の生長計画のようなものをきちんと出していただけるといいと思います。</p> <p>6 その他</p> <p>(事務局) 【次第】に沿って説明。</p>
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1：メモリアルグリーン指定管理者応募状況 ・資料2：メモリアルグリーン指定管理者選定手順 ・資料3：メモリアルグリーン指定管理者応募者評価表 ・資料4：メモリアルグリーン指定管理者選定評価集計表